

手順 3. プリンター・ドライバーを導入する

印刷を行うには、プリンター・ドライバーをオペレーティング・システムに導入する必要があります。本オプションには、PAGESモード用のプリンター・ドライバーが同梱されています。プリンター・ドライバーは、オペレーティング・システム別に用意されています。対応しているオペレーティング・システムは、Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows NT 3.51、Windows NT 4.0およびOS/2です。

ESC/Pモード用プリンター・ドライバーは85ページの『アプリケーションでの設定』の優先順位に従って、各オペレーティング・システムに付属のプリンター・ドライバーを導入してください。

当オプションを導入されるオペレーティング・システムを確認して該当のページに進んでください。

- Windows 3.1に導入する場合は、12ページに進んでください。
- Windows 95に導入する場合は、14ページに進んでください。
- Windows 98に導入する場合は、16ページに進んでください。
- Windows NT 3.51に導入する場合は、18ページに進んでください。
- Windows NT 4.0に導入する場合は、21ページに進んでください。
- OS/2に導入する場合は、24ページに進んでください。

注: 同梱のプリンター・ドライバーは随時更新され、導入の手順が変更されることがあります。導入の手順はプリンター・ドライバーを収めたCD-ROMのREADME.TXTファイルに記述されています。プリンター・ドライバーの導入前に、README.TXTファイルをお読みください。

またプリンター・ドライバーは、頻繁に更新されます。以下の URL からプリンター・ドライバーをダウンロードすることができます。

<http://www.ibm.co.jp/download.html>

手順 3-a. Windows 3.1用プリンター・ドライバーを導入する

注:

1. プリンター・ドライバーを導入する前に、プリンター・ドライバー導入時や使用時の注意点など重要な情報が記述されているREADME.TXTファイルをお読みください。このファイルは、CD-ROMのWindows 3.1用プリンター・ドライバーの入っているディレクトリーの中にあり、メモ帳などのアプリケーションで読むことができます。
 2. プリンター・ドライバーを導入するときは、実行中のすべてのアプリケーションをあらかじめ終了させておいてください。
- 1 コントロールパネルの「プリンタ」アイコンをダブル・クリックするかプリントマネージャーのメニューから「オプション(O)」の「プリンタの設定(P)」を選んでください。
 - 2 「プリンタの設定」画面が開きます。「追加(A)>>」ボタンを押してください。
 - 3 「組み込むプリンタの選択」リストボックスが開きます。リストボックスの中から「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を選び「組み込み(I)」ボタンを押してください。
 - 4 「プリンタの組み込み」画面が表示されます。
 - 5 プリンター・ドライバーの入ったCD-ROMをセットします。
 - 6 画面上でプリンター・ドライバーのコピー元のパス名（ドライブ名とディレクトリー名を組み合わせたもの）を指定します。
コピー元のパス名を確認するときは、ご使用のコンピューターの構成を確認し、CD-ROMのルート・ディレクトリーの中のREADME.TXTファイルを参照してください。
パス名を入力したら「OK」ボタンを押してください。
 - 7 「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの追加」画面が表示されます。
 - 8 プリンター名のリストが画面上に表示されます。

IBM InfoPrint 40 PAGES

ここで上記のプリンター名をクリックして選び「OK」ボタンを押してください。

- 9 プリンター・ドライバーのファイルがCD-ROMからWindows上にコピーされます。
- 10 必要なファイルのコピーが終わると、「プリンタの設定」画面の「組み込まれているプリンタ」リストボックスに導入したプリンターの名前が現れます。
- 11 接続先を変えたり、導入したプリンター・ドライバーの設定を通常使うプリンターから変更するときは「プリンタの設定」画面の該当するボタンを押して変更してください。
- 12 「終了」ボタンを押して「プリンタの設定」画面を閉じます。

注:

1. ステップ12で「プリンタの設定」パネルの「終了」ボタンを押さずに複数のプリンター・ドライバーを続けて導入すると導入に失敗することがあります。複数のプリンター・ドライバーを導入するときは、プリンター・ドライバーを導入するごとに「終了」ボタンを押し、導入を終了させてから次のプリンター・ドライバーを導入してください。
 2. プリンター・ドライバーを再導入するときは必ず「プリンタの設定」パネルの「登録の削除」ボタンで古いプリンター・ドライバーを削除してから、新しいプリンター・ドライバーを導入してください。
- 27ページの「手順4. プリンターを設定する」に進んでください。

手順 3-b. Windows 95用プリンター・ドライバーを導入する

注:

1. プリンター・ドライバーを導入する前に、プリンター・ドライバー導入時や使用時の注意点など重要な情報が記述されているREADME.TXTファイルをお読みください。このファイルは、CD-ROMのWindows 95用プリンター・ドライバーの入っているディレクトリーの中にあり、メモ帳などのアプリケーションで読むことができます。
2. プリンターがパラレル・ポートに接続された状態でプリンター・ドライバーを導入するときは、プリンターの電源が入っていない状態でWindows 95を起動し、Windows 95が立ち上がってからプリンターの電源を入れてください。
3. プリンター・ドライバーを導入するときは、実行中のすべてのアプリケーションをあらかじめ終了させておいてください。

- 1 「スタート」ボタンを押します。
- 2 メニューの中から「設定」、「プリンタ」の順に選び「プリンタ」画面を開きます。
- 3 「プリンタ」画面上の「プリンタの追加」をダブル・クリックし「プリンタ ウィザード」を起動します。
- 4 「次へ」ボタンを押すと「プリンタはどこに接続されていますか?」という画面が表示されます。
- 5 「ローカル プリンタ(L)」を選択して「次へ」を押すと、プリンターの製造元とモデルを指定する画面が表示されます。
- 6 製造元とモデルを指定する画面で「ディスク使用(H)」ボタンを押すと「フロッピーディスクからインストール」というダイアログ画面が表示されます。
- 7 プリンター・ドライバーの入ったCD-ROMをセットします。
- 8 プリンター・ドライバーのコピー元のパス名（ドライブ名とディレクトリー名を組み合わせたもの）を指定します。

コピー元のパス名を確認するときは、ご使用のコンピューターの構成を確認し、CD-ROMのルート・ディレクトリーの中のREADME.TXTファイルを参照してください。

パス名を入力したら「OK」ボタンを押してください。

- 9 「プリンタ ウィザード」の画面上に、プリンター名のリストが表示されます。

IBM InfoPrint 40 PAGES

ここで上記のプリンター名をクリックして選び「次へ」ボタンを押してください。

注: システム上に以前のバージョンのプリンター・ドライバーが残っていると「現在のファイルをそのまま使いますか?」という画面が表示されますので「新しいドライバに置き換える」を選択してください。以前のファイルは、新しいファイルによって上書きされます。

- 10 プリンターを使うポートの選択画面が表示されます。LPT1など、お使いになるポートを選択して「次へ」ボタンを押してください。
- 11 導入したプリンター・ドライバーを通常使うプリンターのプリンター・ドライバーとして使用するかどうかをご使用になる環境に合わせて選択して「次へ」ボタンを押してください。
- 12 「完了」ボタンを押すと、プリンター・ドライバー・ファイルのコピーが始まります。
- 13 印字テストを行うかどうかを指定します。印字テストを行う場合は、プリンターが正しく接続されていて使用可能であることを確認してください。
- 14 必要なファイルのコピーが終わると「プリンタ」画面上に導入したプリンターのアイコンが現れます。

注:

1. ひとつのプリンター・ドライバーで複数のプリンター・アイコンを作成している場合にプリンター・ドライバーを削除しないまま新しいプリンター・ドライバーを再導入するとそのプリンター・アイコンに関連付けられたプリンター・ドライバーは更新されます。別名で複数のプリンター・アイコンを作成しても同じプリンター・ドライバーが共通で使用されます。
2. プリンター・ドライバーを再導入するときは、古いプリンター・ドライバーを削除してから新しいプリンター・ドライバーを導入してください。プリンター・ドライバーの削除については、README.TXTファイルを参照してください。

- 27ページの『手順4. プリンターを設定する』に進んでください。

手順 3 - c . Windows 98用プリンター・ドライバーを導入する

注:

1. プリンター・ドライバーを導入する前に、プリンター・ドライバー導入時や使用時の注意点など重要な情報が記述されているREADME.TXTファイルをお読みください。このファイルは、CD-ROMのWindows 98用プリンター・ドライバーの入っているディレクトリーの中にあり、メモ帳などのアプリケーションで読むことができます。
2. プリンターがパラレル・ポートに接続された状態でプリンター・ドライバーを導入するときは、プリンターの電源が入っていない状態でWindows 98を起動し、Windows 98が立ち上がってからプリンターの電源を入れてください。
3. プリンター・ドライバーを導入するときは、実行中のすべてのアプリケーションをあらかじめ終了させておいてください。

- 1 「スタート」ボタンを押します。
- 2 メニューの中から「設定」、「プリンタ」の順に選び「プリンタ」画面を開きます。
- 3 「プリンタ」画面上の「プリンタの追加」をダブル・クリックし「プリンタ ウィザード」を起動します。
- 4 「次へ」ボタンを押すと「プリンタはどこに接続されていますか?」という画面が表示されます。
- 5 「ローカル プリンタ(L)」を選択して「次へ」を押すと、プリンターの製造元とモデルを指定する画面が表示されます。
- 6 製造元とモデルを指定する画面で「ディスク使用(H)」ボタンを押すと「フロッピーディスクからインストール」というダイアログ画面が表示されます。
- 7 プリンター・ドライバーの入ったCD-ROMをセットします。
- 8 プリンター・ドライバーのコピー元のパス名（ドライブ名とディレクトリー名を組み合わせたもの）を指定します。

コピー元のパス名を確認するときは、ご使用のコンピューターの構成を確認し、CD-ROMのルート・ディレクトリーの中のREADME.TXTファイルを参照してください。

パス名を入力したら「OK」ボタンを押してください。

- 9 「プリンタ ウィザード」の画面上に、プリンター名のリストが表示されます。

IBM InfoPrint 40 PAGES

ここで上記のプリンター名をクリックして選び「次へ」ボタンを押してください。

注: システム上に以前のバージョンのプリンター・ドライバーが残っていると「現在のファイルをそのまま使いますか?」という画面が表示されますので「新しいドライバに置き換える」を選択してください。以前のファイルは、新しいファイルによって上書きされます。

- 10 プリンターを使うポートの選択画面が表示されます。LPT1など、お使いになるポートを選択して「次へ」ボタンを押してください。
- 11 導入したプリンター・ドライバーを通常使うプリンターのプリンター・ドライバーとして使用するかどうかをご使用になる環境に合わせて選択して「次へ」ボタンを押してください。
- 12 「完了」ボタンを押すと、プリンター・ドライバー・ファイルのコピーが始まります。
- 13 印字テストを行うかどうかを指定します。印字テストを行う場合は、プリンターが正しく接続されていて使用可能であることを確認してください。
- 14 必要なファイルのコピーが終わると「プリンタ」画面上に導入したプリンターのアイコンが現れます。

注:

1. ひとつのプリンター・ドライバーで複数のプリンター・アイコンを作成している場合にプリンター・ドライバーを削除しないまま新しいプリンター・ドライバーを再導入するとそのプリンター・アイコンに関連付けられたプリンター・ドライバーは更新されます。別名で複数のプリンター・アイコンを作成しても同じプリンター・ドライバーが共通で使用されます。
2. プリンター・ドライバーを再導入するときは、古いプリンター・ドライバーを削除してから新しいプリンター・ドライバーを導入してください。プリンター・ドライバーの削除については、README.TXTファイルを参照してください。

- 27ページの『手順4. プリンターを設定する』に進んでください。

手順 3-d. Windows NT 3.51用プリンター・ドライバーを導入する

注:

1. プリンター・ドライバーを導入する前に、プリンター・ドライバー導入時や使用時の注意点など重要な情報が記述されているREADME.TXTファイルをお読みください。このファイルは、CD-ROM上のWindows NT3.51用プリンター・ドライバーの入っているディレクトリーの中にあり、メモ帳などのアプリケーションで読むことができます。
2. プリンター・ドライバーを導入するときは、実行中のすべてのアプリケーションをあらかじめ終了させておいてください。

- 1 「プログラムマネージャ」から「メイン」グループを開いてください。
- 2 「メイン」グループの中の「コントロールパネル」を開きます。「プリンタ」アイコンをダブル・クリックして「プリントマネージャ」のウィンドウを開くか、「メイン」グループから「プリントマネージャ」を直接開いてください。
- 3 「プリントマネージャ」の「プリンタ(P)」メニューから「プリンタの作成(T)」を選び「プリンタの作成」画面を開きます。
- 4 「プリンタの作成」画面の「ドライバ(D)」の矢印ボタンを押します。
- 5 プリンター・ドライバーの選択項目が表示されます。表示された選択項目の中から「その他」を選びます。たくさんのプリンター・ドライバーが登録されているときは、スクロールバーを使って一番下までスクロールしてから「その他」を選びます。
- 6 「ドライバの組み込み」画面が表示されます。
- 7 プリンター・ドライバーの入ったCD-ROMをセットします。
- 8 画面上でプリンター・ドライバーのコピー元のパス名（ドライブ名とディレクトリー名を組み合わせたもの）を指定します。
コピー元のパス名を確認するときは、ご使用のコンピューターの構成を確認し、CD-ROMのルート・ディレクトリーの中のREADME.TXTファイルを参照してください。
パス名を入力したら「OK」ボタンを押してください。
- 9 「ドライバの選択」画面が表示されます。

- 10 「プリンタドライバ」リストボックスのなかにプリンター名のリストが表示されます。

IBM InfoPrint 40 PAGES

ここで上記のプリンター名をクリックして選び「OK」ボタンを押してください。

- 11 プリンター・ドライバがCD-ROMからWindows NT 3.51上にコピーされます。必要なファイルのコピーが終わると「プリンタの作成」画面に戻ります。続いてプリントマネージャへの登録を行います。
- 12 「プリンタの作成」画面の「プリンタ名(N)」にプリントマネージャに登録するプリンター名を入力してください。この項目への入力が必要です。
- 13 「プリンタの作成」画面の「印刷先(T)」を確認します。必要に応じて変更してください。「ポート設定(G)」ボタンを押すと印刷先がLPTポートのときはタイムアウトの値を設定する画面が開きます。必要に応じて値を変更してください。ほかに「詳細(I)」ボタンや「ネットワーク上で共有(S)」などの設定項目があります。詳しくは、Windows NT 3.51のセットアップ・ガイドなどを参照してください。
- 14 各項目の確認と設定が終わったら「OK」ボタンを押してください。
- 15 「プリンタセットアップ」画面が表示されます。ここで「給紙方法」（給紙トレイの指定）と「用紙名」（その給紙トレイで使う用紙のサイズ）の組み合わせを指定します。お使いの環境に合わせて組み合わせを変更、追加してください。初期値（省略時値）では、「プリンターによる自動選択」と「A4」サイズの組み合わせだけが設定されています。通常はこの設定を変更する必要はありません。「プリンタセットアップ」画面の項目は、導入終了後も変更できます。印刷を行うときにこの設定がお使いの環境と異なるときは、正しい用紙に印刷されないことがあります。
- 注： 「プリンターによる自動選択」とは、プリンターが用紙サイズに応じて給紙トレイを自動的に選択する機能です。給紙方法として通常は「プリンターによる自動選択」をお使いください。「プリンタセットアップ」画面で、トレイ1以下のすべての給紙トレイに対して用紙名として（なし）を割り当てると「プリンターによる自動選択」が有効になります。
- 16 「プリンタセットアップ」画面上の設定を終えたら「OK」ボタンを押してください。

導入完了後に設定を変更するときは、プリントマネージャでプリンターを選択し、次に「プリンタ(P)」メニューの「プリンタ情報(P)」を選択してください。「プリンタ情報」画面が開きます。

給紙トレイと用紙サイズの組み合わせを変更するときは「設定(U)」ボタンを押してください。「プリンタセットアップ」画面が表示され、組み合わせを変更できます。「印刷先」も同様に変更できます。
プリンター本体の構成を変更したときは、変更内容に合わせて給紙トレイと用紙サイズの組み合わせを変更、追加または削除してください。

CD-ROM上のWindows NT3.51用プリンター・ドライバーの入っているディレクトリーの中に、Windows NT3.51用プリンター・ドライバーについてのREADME.TXTファイルとPAGESNT.WRIファイルがあります。これらのファイルには、プリンター・ドライバーの導入の方法や設定項目、その他の重要な情報がありますのでお読みください。README.TXTファイルは、メモ帳などのアプリケーションで読むことができます。PAGESNT.WRIファイルは、ライトで読むことができます。

- 27ページの『手順4. プリンターを設定する』に進んでください。

手順 3-e. Windows NT 4.0用プリンター・ドライバーを導入する

注:

1. プリンター・ドライバーを導入する前に、プリンター・ドライバー導入時や使用時の注意点など重要な情報が記述されているREADME.TXTファイルをお読みください。このファイルは、CD-ROM上のWindows NT 4.0用プリンター・ドライバーの入っているディレクトリーの中にあり、メモ帳などのアプリケーションで読むことができます。
2. プリンター・ドライバーを導入するときは、実行中のすべてのアプリケーションをあらかじめ終了させておいてください。
3. ネットワークに直接接続している本プリンターにTCP/IP接続で印刷するときは、あらかじめLPR印刷機能をもったユーティリティー・プログラムをWindows NT 4.0にインストールしておきます。このようなユーティリティー・プログラムには本プリンターに付属する「IBM TCP/IPネットワーク・ポート・モニター」や、Windows NT 4.0に標準で付属する「Microsoft TCP/IP印刷」があります。詳しくはそれぞれのドキュメントファイルやWindows NT 4.0のヘルプなどを参照してください。

- 1 「スタート」ボタンを押します。
- 2 メニューの中から「設定」、「プリンタ」の順に選び「プリンタ」画面を開きます。
- 3 「プリンタ」画面上の「プリンタの追加」をダブル・クリックし「プリンタの追加ウィザード」を起動します。
- 4 プリンターの管理方法を指定する画面が表示されます。「このコンピュータ(M)」を選択して「次へ(N)」を押すと、プリンターが使用するポートを指定する画面が表示されます。
- 5 プリンターが使用するポートを選択します。必要に応じてポートの追加やポートの構成を行い「次へ」ボタンを押します。プリンターの製造元とモデルを指定する画面が表示されます。
- 6 製造元とモデルを指定する画面で「ディスク使用(H)」ボタンを押すと「フロッピーディスクからインストール」というダイアログ画面が表示されます。
- 7 プリンター・ドライバーの入ったCD-ROMをセットします。

- 8** 画面上でプリンター・ドライバーのコピー元のパス名（ドライブ名とディレクトリー名を組み合わせたもの）を指定します。

コピー元のパス名を確認するときは、ご使用のコンピューターの構成を確認し、CD-ROMのルートディレクトリーの中のREADME.TXTファイルを参照してください。

パス名を入力したら「OK」ボタンを押してください。

- 9** プリントウィザードの画面上にプリンターのリストが表示されます。

IBM InfoPrint 40 PAGES

ここで上記のプリンター名をクリックして選び「次へ(N)」ボタンを押してください。

- 10** もし次のメッセージが表示されたときは「新しいドライバに置き換える」を選び「次へ(N)」ボタンを押してください。

このプリンタにはドライバが既にインストールされています。
現在のドライバをそのまま使いますか？
新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。

メッセージが表示されないときは、次のステップに進んでください。

- 11** 導入したプリンターの名前を設定します。画面に表示されている名前であれば、そのまま構いません。導入したプリンター・ドライバーを通常使うプリンターのプリンター・ドライバーとして使用するかを設定します。設定後「次へ(N)」ボタンを押します。

- 12** テストページを印刷するかどうかを指定する画面が表示されます。通常は「はい(推奨) (Y)」を選択してください。
この画面で「完了」ボタンを押すと、プリンター・ドライバー・ファイルのコピーが始まります。

- 13** 必要なファイルのコピーが終わると「プリンタ」画面上に導入したプリンターのアイコンが現れます。アイコンを右クリックしてメニューを表示させ「ドキュメントの既定値(L)」を選択します。

- 14** 「既定のドキュメントのプロパティ」画面が表示されます。「ページ設定」タブをクリックしてから「給紙方法(S)」の矢印ボタンを押します。

15 表示されたメニューから「プリンターによる自動選択」を選び「OK」ボタンを押します。

注: 「プリンターによる自動選択」とは、プリンターが用紙サイズに応じて給紙トレイを自動的に選ぶ機能です。給紙方法として通常は「プリンターによる自動選択」をお使いください。

CD-ROM上のWindows NT 4.0用プリンター・ドライバーの入っているディレクトリーの中に、Windows NT 4.0用プリンター・ドライバーについてのREADME.TXTファイルとPAGESNT.DOCファイルがあります。これらのファイルには、プリンターの導入の方法や設定項目、その他の重要な情報がありますのでお読みください。README.TXTファイルは、メモ帳などのアプリケーションで読むことができます。PAGESNT.DOCファイルは、ワードパッドで読むことができます。

● 27ページの「手順4. プリンターを設定する」に進んでください。

手順 3-f. OS/2用プリンター・ドライバーを導入する

通常のOS/2用のプリンター・ドライバーと同じ手順で導入できます。例えば、OS/2 Warp Version 4に新規にプリンター・ドライバーを導入する場合は、次の手順で行います。

注:

1. プリンター・ドライバーを導入する前に、プリンター・ドライバー導入時や使用時の注意点など重要な情報が記述されているREADME.TXTファイルをお読みください。このファイルは、CD-ROM上のOS/2用プリンター・ドライバーの入っているディレクトリーの中にあり、OS/2システム・エディターなどのアプリケーションで読むことができます。
2. プリンター・ドライバーを導入するときは、実行中のすべてのアプリケーションをあらかじめ終了させておいてください。

- 1 OS/2のデスクトップより「OS/2システム」をオープンします。
- 2 テンプレート・フォルダーを開いて、使用する環境に合わせて「プリンター」あるいは「ネットワーク・プリンター」のどちらのテンプレートを使用するかを決めます。
- 3 使用するプリンター・テンプレートを選択し、マウスの右ボタンをクリックしてメニューを表示させ、メニューの中から「インストール」を選択します。
- 4 「ネットワーク・プリンター」の場合はサーバーを経由してアクセスするため、最初にネットワーク上のリソースを選択するためのダイアログが表示されます。続いて「プリンターの作成」ダイアログが表示されます。
ここではネットワークについては省略します。ネットワーク上のリソースの選択方法については、OS/2の操作ガイドを参照してください。
- 5 「プリンターの作成」ダイアログの「新規プリンター・ドライバーのインストール」ボタンを押すとプリンター・ドライバーの一覧が表示されます。
- 6 「その他のOS/2用プリンター・ドライバー」ボタンを選択します。パネル上のプリンター・ドライバーのコピー元のパス名（ドライブ名とディレクトリー名を組み合わせたもの）の入力欄が使用可能になります。コピー元のパス名には、通常A:が入っているのでプリンター・ドライバーの入ったCD-ROMをセットしたらCD-ROM上のOS/2用プリンター・ドライバーの入っているディレクトリーのパス名に変更してください。

コピー元のパス名を確認するときは、ご使用のコンピューターの構成を確認し、CD-ROMのルート・ディレクトリーの中のREADME.TXTファイルを参照してください。

7 パス名を入力したら「最新表示」ボタンを押してください。プリンター名の一覧が表示されます。

8 ここで以下のプリンター名をクリックして選択し「インストール」ボタンを押してください。

InfoPrint40 (PRN48E)

9 もし、以下のメッセージが表示されたときは、「はい (Y)」ボタンを押してください。

選択したプリンター・ドライバーに関連するファイルはすでにインストール済みです。
新しいバージョンのものと置き換えますか。

10 以下のメッセージが表示された時は、「了解」ボタンを押してください。

選択されたプリンター・ドライバーは正しくインストールされました。
“了解”を選択してプリンターの作成ウィンドウに戻り、“作成”を選択してプリンターのインストールを完了させてください。

11 プリンター・ドライバーがOS/2上にコピーされ、「プリンターの作成」ダイアログに表示が戻ります。

12 プリンター・ドライバーの導入が正常に終了すると、「プリンターの作成」ダイアログの「省略時プリンター・ドライバー」の一覧にコピーされたプリンター・ドライバーが追加されます。

13 OS/2上で参照するためのプリンターの名前を「名前」フィールドに入力し、「省略時プリンター・ドライバー」と「出力ポート」を一覧の中からそれぞれ選択して最後に「作成」ボタンをクリックします。

14 以上で導入は終了です。デスクトップ上に新しいプリンター・アイコンが表示され、プリンターが使用可能になります。

WIN-OS/2の環境でお使いの場合は、Windows 3.1用のプリンター・ドライバーを導入してください。

- 27ページの「手順4. プリンターを設定する」に進んでください。

手順4. プリンターを設定する

重要

補助給紙トレイあるいは封筒トレイをご使用になる場合には、用紙サイズが操作パネル・メニューのヨウシメニュー項目の「ホジヨサイズ」あるいは「フウトウサイズ」と同じであることをご確認ください。

使用するネットワーク環境やソフトウェアに応じて、プリンターのエミュレーション設定やインターフェース設定を変更する必要があります。

エミュレーション・パーソナリティを設定する

パーソナリティとはエミュレーションの種類のことをいいます。

IBM InfoPrint 40 PAGES & ESC/Pは、パラレル・ポートやトークンリングなどのいろいろな接続形態をサポートしています。各接続機構またはポートごとにパーソナリティを設定できます。パーソナリティの設定には、次の2通りの方法があります。

● 自動選択

プリンターは、受け取った制御コマンド列から特定のパーソナリティを判別し、そのパーソナリティに合わせて処理を行います。設定方法は、接続機構のメニューで“パーソナリティ = オート”と設定します。ほとんどの場合、この設定でプリンターがサポートするパーソナリティを正しく処理できますが、まれに正しく処理できない場合があります。その場合は、次の「プリンター言語の手動選択」を行ってください。

● プリンター言語の手動選択

プリンターは、受け取った制御コマンド列を指定されたパーソナリティで処理します。PAGESを設定する場合の設定方法は、接続方式ごとのメニューで“パーソナリティ = PAGES”と設定します。

以下にパラレル・ポートを例として、パーソナリティをPAGESに設定する方法を説明します。

- 1 オンライン・キーを押して、プリンターをオフラインにします。
- 2 メニュー・キーを押して、操作パネル・メニューに入ります。
- 3 さらにメニュー・キーを“パラレル・メニュー”が表示されるまで押します。

- 4 項目キーを“パーソナリティ = XXXX *”が表示されるまで押します。ここでの XXXX は、PAGESやESC/Pなどの現在選択されているパーソナリティです。
- 5 値キーを“パーソナリティ = PAGES”が表示されるまで押します。
- 6 実行キーを押して、“パーソナリティ = PAGES *”のように星印 (*) を右端に表示させ、選択された状態にします。
- 7 オンライン・キーを再び押して、プリンターを印刷可能な状態にします。

パーソナリティをオートにする場合は、ステップ5でPAGESの代わりにオートを選択します。同様にパーソナリティをESC/Pにする場合は、PAGESの代わりにESC/Pを選択します。また、トークンリングなど、ほかの接続機能の設定を行う場合は、上記の各ステップでのパラレル・ポートをトークンリングなどに置き換えてお読みください。

PAGESを使用する場合でもESC/Pを使用する場合でも「プリンター言語の手動選択」を行う場合はパーソナル・コンピュータ上のアプリケーションとマッチしたパーソナリティが選ばれていることを確認してください。

“パーソナリティ = PAGES”または“パーソナリティ = オート”でPAGESのジョブを実行している場合、一部のアプリケーションでは、IBM 5577のようなインパクト・プリンターを想定している場合があります。この場合は、PAGES メニューの5577モードをオンにして使用してください。

タイムアウトの値を設定する

タイムアウトは、現行のジョブに対するデータが終了したかどうかを判断するための値です。プリンターは最後のデータを受け取ってから設定された秒数後に初めて、他の接続機構にジョブがあるかどうかをチェックします。それ以前は、現行の接続機構からデータが来るのを待ちます。タイムアウトの値が小さすぎると、一つのジョブが分割されるなどの印刷エラーが生じます。また、値が大きすぎると、ほかの接続機構へのスイッチに時間がかかるなどの弊害がおきます。印刷環境に合ったタイムアウトの値を設定してください。

次に、パラレル・ポートのポート・タイムアウトの値を変更する例を示します。

- 1 オンライン・キーを押して、プリンターをオフラインにします。
- 2 メニュー・キーを押して、操作パネル・メニューに入ります。

- 3 さらにメニュー・キーを“パラレル・メニュー”が表示されるまで押します。
- 4 項目キーを“ポート・タイムアウト = XXX *”が表示されるまで押します。ここでの XXX は、現在指定されているタイムアウトの値です。
- 5 値キーを設定しようとするポート・タイムアウトの値になるまで押します。値を小さくしたいときは、シフト・キーを押しながら値キーを同時に押します。
- 6 実行キーを押して、“ポート・タイムアウト = XXX *”のように星印 (*) を右端に表示させ、選択された状態にします。
- 7 オンライン・キーを再び押して、プリンターを印刷可能な状態にします。

トークンリングなど、他の接続機能の設定を行う場合は、上記の各ステップでのパラレル・ポートをトークンリングなどに置き換えてお読みください。

- 30ページの『手順5. プリンター・ドライバーの設定をプリンターの設定に一致させる』に進んでください。

手順5. プリンター・ドライバーの設定をプリンターの設定に一致させる

注: 対応するオペレーティング・システムによって、プリンター・ドライバーの表示するパネルの構成やサポートする機能に若干の差があります。

● 装置オプション

プリンター・ドライバー上の装置オプションを設定するパネルで、オプションの用紙トレイやフィニッシャーなどの装着しているオプションを指定してください。

● トレイと用紙サイズの組み合わせ

OS/2、Windows NT 3.51、Windows NT 4.0のようなオペレーティング・システムでは、セットする用紙サイズをプリンターのトレイごとに事前に設定しておく必要があります。

例: トレイ1をA4に、トレイ2をB4にというような組み合わせを設定します。

Windows NT 3.51とWindows NT 4.0では給紙方法として通常は「プリンターによる自動選択」を使用します。トレイ1以降の各トレイは「なし」または「使用しない」に設定しておきます。このようにするとプリンターは使用する用紙サイズに応じて、給紙トレイを自動的に選択します。

● 余白

プリンター本体側の値と一致させてください。アプリケーション・プログラムにプリンター上の余白の値を知らせるために必要です。

● 不定形用紙サイズ

ご使用になる不定形用紙のサイズは、プリンター本体とプリンター・ドライバーの両方に設定してください。プリンター・ドライバー上の設定は、アプリケーション・プログラムに不定形用紙のサイズを知らせるために必要です。

その他のメニューも必要に応じて適切な値を選択してください。

以上で当オプションの導入を終了します。